

節目 ～別れと出会いの季節～

校長 竹中 朝崇

「最強寒波が…」。立春を過ぎたにも関わらず、今季一番の寒さを迎えたかと思えば、急に春が来たかのような陽気に体は驚くばかりです。昔から三寒四温という言葉があります。春という季節は進んでは冬へと戻りを繰り返しながら迎えるということです。もう少し経つと色とりどりの花が咲き、春本番を迎えます。にぎやかな本格的な春を待ちたいと思います。

ところで、3月1日（土）に高校では卒業証書授与式が行われました。本校所定の教育課程を修了した566名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。当日は晴天に恵まれ、むしろ暑いくらいの陽気でしたが、無事に実施することができました。ありがとうございました。私は式辞の中で新たな世界に羽ばたこうとする皆さんに「世界はすべてつながっているという意識をもつこと」「豊かな人間性が問われる時代であること」「経験だけでは通用しない時代や社会であるから、学び続ける力が求められること」という3点に触れましたが、これから社会に出るにあたってのヒントとして印象に残っているでしょうか。高校を卒業する皆さん、大人としての自覚が求められる次のステージでのさらなる飛躍を期待しております。そして3月15日（土）には中学校卒業証書授与式を実施します。本校は併設型中高一貫校ですので、中学3年生の皆さんはあくまでも義務教育の課程を修了したことに対する式典となります。人生の一つの区切りとなる節目ですので大切にしたいものです。志を掲げ、新たな目標に向かって一歩ずつ前を進めていきましょう。

中学生は3月3日（月）から、高校1・2年生は4日（火）からこの1年の学習の総まとめとも言える学年末試験となります。この試験の結果を受けた上で、まずは今の自分を見つめ振り返りましょう。そして在校生の皆さんは1つ階段を上がることになります。経験を積み重ねていくことで当然できることやなすべきことが増えます。春休みの時期に自らの新しい目標を設定するとともに、新たな仲間を迎えるにあたり次に向けた準備を進めていきましょう。

学校の1年が終わりの時期を迎えています。3月は別れの時期であります。そして新たな出会いに向けた準備の時期でもあります。教員の仕事をしていますとその繰り返しですが、単なる繰り返しではありません。私たちは私立学校に勤務していますので異動はほぼ無い環境ですが、新しい年度を迎えるこれからの時期は緊張感が高まります。生徒一人ひとりは個性があります。成長の過程が異なります。新入生を迎えます。新しく共に働く教職員を迎えます。様々な意味で4月に向けた準備は重要であり、学ぶ環境の整理を行うのが生徒の春休みの期間となります。授業が止まります春休みは生徒の皆さんや保護者の皆様にとっても次に向けた準備期間です。心新たに新年度を迎えて欲しいと願っています。